

第2回 菊川流域委員会 議事概要

1. 開会

2. 挨拶

- ・ 挨拶（中部地方整備局河川計画課長）

3. 議事

(1) 第1回菊川流域委員会 議事概要の確認

- ・ 議事概要案について一部修正を加え、委員の承認を得ました。

(2) 第1回菊川流域委員会及び現地調査で頂いた質問に対する回答（治水・環境）

- ・ 主に次のような意見をいただきました。

No	委員からの質問内容	事務局からの説明内容
1	河道内に繁茂する草本類はどのくらいの洪水規模で倒伏するのか。	出水時に体制をとるような場合には、ほぼ倒伏している。
2	国土交通省としてポンプ規模を設定する際に、湛水時間をどの程度許容しているのか。	次回、説明資料を準備する。

(3) 菊川の概要及び現状と課題（治水・環境）

- ・ 主に次のような意見をいただきました。

No	委員からの質問内容	事務局からの説明内容
3	菊川に生息するオイカワが回遊魚とあるが、“純淡水魚”に修正されたい。	記載を修正する。
4	菊川の河床低下と粘土層との間に関係はあるのか。 現状で河床に粘土層が露出し、河床低下している箇所があれば課題であるので確認が必要である。 河床の経年的な変動状況と粘土層の状況を縦断図にて整理されたい。	河床部のボーリング調査を現在実施中であるが、粘土層の上に砂礫層があることを確認している。次回、縦断図等の説明資料を準備する。
5	菊川には外来種のカミツキガメは生息しているか。 菊川にはミドリガメは生息しているが、カミツキガメの生息は聞いたことがない。	次回、説明資料を準備する。

No	委員からの質問内容	事務局からの説明内容
6	水質が悪い原因のひとつとして合併浄化槽の法定検査の実施率が低いことが考えられるので、整備計画の文面に法定検査の強化を加えてはどうか。	記載の方法については、例えば“住民の水質に対する意識を高める”といった方向性として考えていきたい。 合併浄化槽の実態については次回、説明資料を準備する。
7	菊川は大井川用水の影響により、中上流部でも河川水が白濁して、アユが住めない特徴を持っているため、BODだけではなく、濁度の現状についても整備計画に記述されたい。	次回、説明資料を準備する。
8	菊川の水質が悪い原因として、以前、茶畑から流出する硝酸態窒素が課題となったことがあるので、現状を確認されたい。	次回、説明資料を準備する。
9	老朽化した構造物に対する維持補修の考え方について説明されたい。	次回、説明資料を準備する。
10	河道断面拡大の際にイメージでは床止め地点の断面はどうなるのか。	一連区間として河道掘削する際は床止めを撤去する必要が出てくる場合も想定している。
11	津波遡上高がわかる縦断面図を整理されたい。 津波遡上の想定平面図の色分けは、水位ではなく水深とした方がわかりやすい。	最新のデータをもとに説明資料を準備する。
12	市街化率の数値が別途資料の数値と異なっているので確認されたい。	次回、説明資料を準備する。
13	治水の対応策の方向性として危機管理対策としている項目の中に、計画論として位置づけた方がよいものも含まれていると思うので、確認されたい。	次回、説明資料を準備する。
14	アユやウナギ等の一般的な魚種の量的な現状等、自然度が低下している現状認識を記述する必要があるのではないか。	委員より助言をいただきながら、今後モニタリング方法や生物の監視方法について検討していきたい。
15	河川環境の面から河川の連続性は何らかの対策で確保できるかもしれないが、多様性の確保はどうしていくのか。	整備計画河道が具体化した時点で、説明資料を準備する。
16	施設整備と老朽化対策については、予算を平準化するという視点で計画を検討していくのか。	予算も考慮して決めていくこととなる。
17	菊川には景観の面から良好な自然環境が少ないので、限られた自然環境についても記述されたい。	良好な河川景観が点在しているとの認識である。

4. 閉会

- ・ 次回委員会開催を3月10日に予定することを確認し、閉会しました。